

第 9 学年保護者様

加古川市立義務教育学校
両 荘 み ら い 学 園
校 長 神 吉 直 哉

令和 7 年度 全国学力・学習状況調査の結果について（後期課程）

4 月に行われた「全国学力・学習状況調査」では、全国の小学 6 年生と中学 3 年生を対象に、「国語」「数学（算数）」「理科」の学習状況と児童・生徒の学校や家庭での生活実態についての調査が行われました。

今回の調査結果は、生徒の学力の限られた部分ではありますが、届いた結果を基に、本校の現状を分析してまとめましたので、その概要を保護者の皆様にお知らせいたします。

【国語について】 「書くこと」に関しては、おおむね力がついています。「言葉の特徴や使い方に関する事項」や「読むこと」に課題がみられます。

おおむね力がついていること

- ・書く内容の中心が明確になるように、まとまりを意識して文章構成や展開を考えることができます。（問 1 三）
- ・読み手の立場に立って、文章を整えることができます。（問 4 一）

関連する問題番号

これから力をつけていきたいこと

- ・文脈に即して漢字を正しく使うことに課題があります。（問 1 一）
- ・事象や行為を表す語彙について理解することに課題があります。（問 3 三）
- ・文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えることに課題があります。（問 3 一）、（問 3 四）

【数学について】 「関数」に関しては、おおむね力がついています。「数と式」や「データの活用」に課題が見られます。

おおむね力がついていること

- ・一次関数の変化の割合を基に、 x の増加量に対する y の増加量を求めることができます。（問 4）
- ・事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができます（問 8（1））

これから力をつけていきたいこと

- ・素数の意味を理解することに課題があります。（問 1）
- ・式を変形したり、式の意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由などを数学的な表現を用いて説明することに課題があります。（問 6（2））、（問 6（3））
- ・相対度数の意味、確率についての理解に課題があります。（問 5）、（問 7（1））

【理科について】 『『生命』を柱とする領域』については、おおむね力がついています。記述式の問題において、調査・実験や探究などの結果から考えを表現することに課題があります。

おおむね力がついていること

- ・身の回りの事象から生じた疑問、見出した問題を解決するための課題設定ができます。（問 1（2））
- ・元素記号に関する知識や技能、生命を維持する働きに関する知識が概念として身につけています。（問 1（5））、（問 1（4））

これから力をつけていきたいこと

- ・記述式の解答について調査・実験や探究の結果を分析したり関連付けしたりして自らの考えを表現することに課題があります。(問1 (6))、(問5 (2))、(問8 (2))

【生活・学習状況について】

「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した生徒…………… 約 98%

「人が困っているときには、進んで助けている」と回答した生徒…………… 約 93%

「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と回答した生徒…………… 約 82%

→生活面では、家庭・地域・学校において、周りに対する思いやりが大切だという意識が高いです。また、地域や社会をよくするために何かしてみたいなど、他者のために進んで行動しようという生徒が多いです。

「学校に行くのは楽しいと思う」と回答した生徒…………… 約 93%

「友達関係に満足していますか」と回答した生徒…………… 約 91%

「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒…………… 約 93%

→友達や先生などとの関係がよく、サポートもあり自己肯定感が高い生徒が多いです。

「学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日あたり30分以上、PC・タブレット

を勉強のために使用している」と回答した生徒…………… 約 36%

「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、

工夫できている」と回答した生徒…………… 約 77%

→PC・タブレットを使って、学び方を考え、工夫して家庭学習が進められていると思われます。

「インターネットを使って情報を収集できる」と回答した生徒…………… 約 98%

「ICT機器を使ってプレゼンテーションを作成できる」と回答した生徒…………… 約 95%

「総合的な学習の時間で探究的な学びに取り組んでいる」と回答した生徒…………… 約 68%

→ICT機器を効果的に活用できる生徒が多く、探究的な学習に取り組んでいるようです。

《今後の取組み》

国語では、日常において読書の習慣をつけてさせることより、文書の構成や展開、表現の効果などを理解し、明確な根拠を持ち考えられるよう「論理的思考力」を育成します。また、事象や行為を表す語彙力をつけさせるためにも、新聞や図書の有効な活用を検討していきます。

数学では、「数と式」、「データの活用」について苦手が推測されました。また、それらの問題に対し途中であきらめてしまい、無解答も全国や兵庫県の平均よりも多いという傾向も見られました。「数と式」、「データの活用」の分野の授業の見直しと復習に取り組ませます。また、根気強く問題に取り組めるよう指導していきます。

生活・学習状況から、周りに対する思いやりが大切だという意識が高いことや友達や先生など周りのサポートもあり自己肯定感も高いと推測されます。今後も継続できるよう努めていきます。